日食があります（お知らせ）

理科室から

７月２２日に日食が起こります。鹿児島県の一部などでは皆既食になるので、ツアー等が企画されてその盛り上がりぶりは御存知のことでしょう。大阪でも太陽が相当欠けるので、楽しみにしている人も多いことと思います。これほど大きく欠ける日食が見られる機会はめったにありません。当日のテレビはきっとこの話題ばっかりになると思います。

が、皆さんはインフルエンザの影響もあって**期末試験最終日**。調べてみたら、考査時間中に刻々と欠けていき、最後のテストが終わって２０分後が一番欠ける時刻なのです。その後太陽はどんどん元へ戻っていきます。

そこで、考査が終わってつぎのＬＨＲとの間の休み時間を１０分拡大し、このイベントを観察する時間的チャンスを確保しようということになりました。

四條畷市における予報（国立天文台ＨＰより）
（日食は場所によって時間が全然違います）

09:47:16	欠け始める
10:45	考査終了
11:05:44	一番欠ける（８２％）
11:10	ＬＨＲ開始（通常 11:00 のところ）
12:25:32	日食おわり

で、どうしたらいいの？

この休み時間の間、皆さんは各自自由に校内を移動して自分なりの方法で日食をみることができます。逆に言うと、大勢で短時間なので、組織だったことはしません。提供するのは時間だけです。皆さんには各自でこの現象を確認してほしいのです。

失明注意　太陽を直接観るのはもちろん、下敷きや黒いフィルムやすすガラスなどでみては絶対に**いけません**。紫外線や赤外線が目に入って目を痛めてしまいます。
サングラスをかけても、じつは紫外線完全遮断ではないので同じことです。
日食のたびに目を痛めたという事故が発生しています。**くれぐれも気をつけてください。**

近いうちに、安全に観られる方法など、観察のしかたをまとめたプリントを作成して配布しようと思います。

雑誌やインターネット、新聞などでも情報が提供されていますから、各自興味を持って調べてほしいと思います。

※ 一部の家電量販店やスーパー、その他のルートで日食観察用の特殊メガネが販売されています。これを使うとかなり安全で簡単に日食をながめることができます。「日食グラス」「日食めがね」などで検索して調べてみてください。欲しい人は早めに行動しないとなくなる（すでに売り切れの場合もある）のでお知らせしておきます。
値段は３００円～１５００円くらいです。（学校として購入を勧めているわけではありません）
当日曇りや雨でも責任は負いません。